

製品安全データシート

会社名 クミアイ化学工業株式会社
住所 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門 生産資材部 生産業務課
電話番号 03-3822-5180
FAX 番号 03-3827-0825
作成・改訂 2009年 9月 1日

整理番号 KF017-6

1. 製品名 テクリードCフロアブル

2. 物質の特定

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：(1RS, 2SR, 5RS; 1RS, 2SR, 5SR)-2-(4-クロロベンジル)-5-イソプロピル-1-

(1H-1, 2, 4-トリアゾール-1-イソメチル)シクロペンタノール／一般名：イプコナゾール

水酸化第二銅

成分及び含有量：イプコナゾール	5.0 %
水酸化第二銅	4.6 %
水、界面活性剤、有機溶剤 等	90.4 %
[エチレングリコール	10.0 %]

化学式：C₁₈H₂₄ClN₃O／イプコナゾール

Cu(OH)₂／水酸化第二銅

C₂H₆O₂／エチレングリコール

官報公示整理番号：安衛法 8-(3)-796／イプコナゾール

化審法 (2)-230／エチレングリコール

CAS No. : 115850-69-6／イプコナゾール (1RS, 2SR, 5RS)

115937-89-8／イプコナゾール (1RS, 2SR, 5SR)

20427-59-2／水酸化第二銅

107-21-1／エチレングリコール

国連分類：クラス6. 1 (毒物・容器等級3)

国連番号：3010 (銅殺虫殺菌剤類、液体、毒性のもの、引火点が61℃を超えるもの又は引火性を有しないもの)

3. 危険有害性の分類

分類の名称：分類基準に該当しない。

有害性：眼に対して弱い刺激が有る。

体質によってかぶれることが有る。

水酸化第二銅 (無機銅塩類) の中毒症状

酵素阻害

嘔吐、上腹部灼熱感、下痢、黄疸、ヘモグロビン尿症、血尿、無・乏尿、血圧低下、昏睡、
黒色便

危険性：通常の使用方法で問題無し。

環境影響：水産動物に影響を及ぼすが、通常の使用方法では問題ない。養魚池周辺での使用には注意する。

4. 応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹸を使って洗浄する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはめぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

水酸化第二銅の中毒症状には、BAL、ペニシラミン、エデト酸塩の投与、胃洗浄が有効である。

5. 火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火剤：水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

消火活動上の注意：消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

6. 漏出時の措置

作業員に対する注意：作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。

環境影響に対する注意：流出した多量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

流出物の処理に対する注意：少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵、蒸気を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。

火災・爆発の防止：通常の方法で問題無し。

保管上の注意：直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

8. 暴露防止措置

許容濃度：日本産業衛生学会及びACGIHのいずれも設定されていない。

設備対策：取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。

保護具 呼吸用保護具：防塵マスク

保護手袋：ゴム手袋

保護眼鏡：側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型

保護衣：作業着、帽子、保護服（不浸透性）、ゴム長靴

9. 物理・化学的性質

外観等：淡青緑色粘稠水和性懸濁液体

pH（原液）：8.0～11.0

比重：1.21～1.25

10. 危険性情報

引火点：無し

発火点：無し

安定性：通常の保管環境下で安定。水酸化第二銅は60℃以上で酸化第二銅と水に分解する。

11. 有害性情報

刺激性（皮膚）：ウサギ 刺激性無し

刺激性（眼）：ウサギ 軽度の刺激性を有する

感作性（皮膚）：モルモット 弱い感作性を有する

急性毒性（経口）：ラット（♂） LD₅₀ 6170mg/kg

ラット（♀） LD₅₀ 5531mg/kg

急性毒性（吸入）：ラット（♂ ♀） LD₅₀ 4.35mg/L以上

急性毒性（経皮）：ラット（♂ ♀） LD₅₀ 2000mg/kg以上

変異原性：陰性/イプコナゾール、水酸化第二銅

12. 環境影響情報

魚毒性：コイ LC₅₀ 10.2ppm（48時間）

セスジミジンコ LC₅₀ 32.7ppm（3時間）

13. 廃棄上の注意

保健衛生上危害を生ずるおそれがない場所（都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者）で、少量ずつ燃焼させる。

14. 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

農薬取締法（登録番号：第18601号）

化学物質管理促進法（対象物質：エチレングリコール 第1種指定物質43号）

PRTR法（対象物質：エチレングリコール 第1種指定物質43号、

政令改正後（平成21年10月1日以降）は非該当）

※ 政令改正前（平成21年9月30日まで）の情報に基づくPRTRの届出は、平成21年度分までとなります。

船舶による危険物の運搬基準等を定める告示（毒物）

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献：1) 製品安全データシートの作成指針（平成13年10月 社団法人 日本化学工業協会）

2) 農薬中毒の症状と治療法 平成20年4月 農林水産省農蚕園芸局

3) 15308の化学商品 2008年2月 化学工業日報社

作成部署以外の連絡先

(財団法人) 日本中毒情報センター 大阪 (年中無休、24時間)

0990-50-2499 (ダイヤルQ2 : 情報料無料、通話料は相談者負担)

072-726-9923 (医療機関専用 : 1件2000円)

つくば (毎日9時~21時)

0990-52-9899 (ダイヤルQ2 : 情報料無料、通話料は相談者負担)

029-851-9999 (医療機関専用 1件2000円)
